



コラボレーション

Collaboration

令和7年度
貝塚市立第三中学校
学校だより

5月20日号

平和な世界を創ろう

5月28日から30日まで3年生が沖縄へ修学旅行に行きます。

沖縄修学旅行で三中として大切にしたいことの一つは、平和学習です。

平和学習とは、戦争や紛争によって引き起こされる事柄や、平和な社会を築くための行動について学び、平和への意識を高める学習です。

今年は第二次世界大戦が終わって80年に当たる年です。

日本が負けたこの戦争で、原爆が落とされました。沖縄が戦場の一つとなりました。日本はなぜ戦争をしてしまったのでしょうか。たくさんの悲劇を避ける方法はなかったのでしょうか。

今の上皇さまが1981年に「日本人が忘れてはならない四つの日」として挙げた日があります。

- ① 1945年6月23日 沖縄慰霊の日
- ② 1945年8月6日 広島に原爆が落とされた日
- ③ 1945年8月9日 長崎に原爆が落とされた日
- ④ 1945年8月15日 終戦の日

知ることからすべてが始まります。知ることからしか始まりません。

修学旅行で実際の沖縄の姿をじっくり見てきてください。感じてきてください。

今年はテレビなどでも戦争や平和に関する番組が増えるでしょう。いろいろ見て、考えていきましょう。

世界から戦争がなくなる日を創りましょう。世界のみんなが平和に生きていける日を創りましょう。大きな理想に向けて学び続けましょう。



講師を探しています

現在、第三中学校では、数学と美術の常勤講師が足りません。

もし、お知り合いで、数学か美術の中学校の教員免許を持っている方がいらっしゃったら、ぜひ、教頭にご連絡ください。

よろしくお願いします。

次世代教育研究推進事業

この度、本校は、貝塚市の次世代教育研究推進事業の指定を受けました。

この事業は、これからの不確実で、将来の予測が困難な社会に向かって、次世代を見据えた学校の研究を支援する事業です。

市内では、西小学校、木島小学校、中央小学校、二色学園、そして本校の計5校が選ばれています。

本校のテーマは、「すべての生徒が安心して過ごせて、主体性を伸ばせる学校をめざして」です。

不確実で、将来の予測が困難な社会では、自らの意志や判断に基づいて、自らの責任の下で行動する主体性が、ますます求められます。

子どもたちが安心して過ごせて、主体性を伸ばせる学校に向けて、いろいろな取り組みをしていきます。応援してください。

将来悔しがることがないように… ～生徒指導から～

中学校はたった3年間しかありません。3年後の自分をどのように想像しますか？ 今という一瞬を大切にしてほしいと考えています。次のお話を紹介します。

ある村にたいそう徳の高い偉いお坊さんが来て、何かすごい話をしてくださるというので、村中の人が集まりました。

村にやってきたその偉いお坊さんはこう言いました。

「これから3年間、小石を拾いましょう。3年後、きっとあなたたちは喜び、そして悔しがるでしょう」

村の人たちは「は？」と思いました。幸せになるいい話が聞けるのかと期待して来たのに、意味不明の話だったのでみんながっかりしました。それでも素直に小石を拾い集めた人はたくさんいました。

3年経ちました。拾い集めた小石はどうなっていたと思いますか？全部ダイヤモンドに変わっていたのです。3年前にあのお坊さんが言った通り、小石を拾った人は大喜びしました。と同時に「もっとたくさん拾っておけばよかった」と悔しがりました。【一部抜粋】



たくさん本を読みましょう。いろんな出会いをつくりましょう。若いときって、そういう話を上の空で聞いていますよね。しかし、若いときに読んだ本や人との出会いは、ある一定期間が過ぎると、ダイヤモンドの輝きを放つようになるのです。

将来、悔しがることがないように…。

【『今伝えたい子どもの心を揺るがす“すごい人”たち』 著：水谷もりひと】